

# 4月28日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始：午前 11 時

-----

司 会：大神真伸兄  
 奏 楽：小島明美 姉  
 おいのり：赤塚孝子姉  
 さんび：新聖歌 20 (主の真実はくしきかな)  
 ヤベツの祈り  
 聖 書：テサロニケ人への第一の手紙 5章 12~18 節  
 (朗読:加藤由美子姉)  
 音 楽：倉知 契 牧師  
 メッセージ：「間違いなく幸せになる」 倉知 契 牧師

さんびと 献金：♪ 新聖歌 233「驚くばかりの」1・3・4  
 頌 栄：♪ 新聖歌 162「ハレルヤハレルヤハレルヤ」  
 祝 禱  
 報 告

-----

## 【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
  - 木曜祈禱会:朝10:30
  - 土曜：会堂清掃 10:30～、 11:15～準備祈禱会
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
  - Aコース：ルカ 18章～21章
  - Bコース：サムエル記下 1章～18章
- ◇ 5月26日(日)礼拝後 バザー&お食事があります。献品がありましたらお早めにお届けください。準備をお願いします。

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年5月5日)

[司会:赤塚敏郎兄、いのり:持田樹理姉、聖書朗読:大神久美姉]

[ピアノ:片岡立子 姉、 ]

[アシスト:加藤由美子姉 & 鄭 恵真姉]

[献金:大神久美姉、受付:太田昌子姉]

◇PA:平松章治兄

◇週報編集:片岡洋一兄

◇ホームページ編集:大神真伸兄



人間は、眼と耳がほぼ同じ位置にあります。これは決して偶然ではなく、もし神というものがあるとすれば、神がそのように造ったんです。眼と耳。フランス・ポンジュの言葉に、『眼と耳のこの狭い隔たりのなかに世界のすべてがある。』という言葉がありますが、音を聴く時—たぶん私は視覚的な人間だからでしょうが—視覚がいつも伴ってきます。そしてまた、眼で見た場合、それが聴感に作用する。しかもそれは別々のことでなく、常に互いに相乗してイマジンテーションを活力あるものに行っていると思うのです。

これは日本を代表する作曲家、故・武満徹(ツケミツトオル)氏の「夢と数～音楽の語法」の一節。彼にとって、見ることは聴くことであり、聴くことは見ることだったという解説にも心魅かれて、時折取り出して読んでみる言葉です。

今頃の私は、聖書を開き、み言葉を味わいながら、思い浮かぶのが瀬戸の皆様のお顔、そして祈りの課題です。担任牧師として今日で四回目の講壇。過去3回の瀬戸往復と、親しい交わりを通して、驚くほどの『愛着』を瀬戸カルバリーチャペルに感じてしまっている自分がいます。夢に出てきた方もいらっしゃるんですよ！もちろん悪夢ではないです(笑)。先週の昼食後に「お名前・好きな食べ物・趣味」を書いていただいて、誰だか当てるクイズをしましたが、その用紙を自宅に持ち帰り、集合写真と照らしながら、「この人この人…」と妻に話して聞かせました。妻も一人ひとりを覚えてお祈りしています。

教会は、主にある家族。愛し合い、赦しあうときに多くの方がイエス様に出会ってゆきます。違いの分かる教会。それぞれの個性や賜物、趣味が用いられたら感謝です。もちろん何もなくても大丈夫。5月12日「母の日」には、誰でも歌える楽しい持ち寄り音楽会を、昼食後いたします。唱歌や替え歌を歌い、それぞれの好きな音楽を披露します。19日はペンテコステ礼拝、26日は礼拝後にバザーと昼食会。街の人も来てくださったら嬉しいですね。たくさん泣いて、たくさん祈って、たくさん笑い合いましょ。きっと神様の「眼と耳の狭い隔たりの中」には、「あなた」がいっぱい詰まって、いつも響いています。ひとり子を賜るほどにこの世=あなたを愛してくださった。

幸せなGW (God's Week)になりますように！

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契

「何があっても明るく、どんな時にも祈り、何が起こっても神様に感謝しましょう。これがキリストにつながる生きていく人の生き方です。」  
 (1テサロニケ五の十二、十六・メッセージバイブル)